

視聴覚教育

NO. 345
発行日 20.9.16
発行 岡崎市AVL
編集 現職研修委員会
学習情報部

視聴覚用語 『フルHD』

高解像度のデジタルテレビ放送（HDTV）のうち、走査線1080本以上の最も解像度が高い方式で、一般的には、フルハイビジョンと呼ばれる。既存のアナログテレビと同じ走査線525本の方式をSD、720本、1080本の方式をHD（ハイビジョン）と言う。

平成20年度全国自作視聴覚教材コンクール

5年連続文部科学大臣賞

平成20年度全国自作視聴覚教材コンクール（主催（財）日本視聴覚教育協会）において、本市から出品した自作教材のうち、今年度も5年連続となる文部科学大臣賞をはじめ2つの作品が入賞しました。なお、表彰式は、9月19日（金）に東京において行われます。

【小学校部門】

●文部科学大臣賞（最優秀賞）

「自然が育てるおいしいお茶」

―宮崎茶のこだわり―

岡崎市自作教材制作委員会C班

岡崎市視聴覚ライブラリー

岡崎市の宮崎地区では、四百年以上前からお茶作りが続けられてきた。梅村芳正さんは、飲む人の健康を考え、無農薬・有機栽培でお茶作りに取り組んでいる。納得のいくお茶ができるように、香りや手触りを確かめながら、気を



茶つみ

抜かずに作業を続ける梅村さんの仕事ぶりや考え方を、丹念に描いている作品である。お茶ができるまでの行程も、映像でていねいに説明しており、小学校の教材としてよくできた作品に仕上がっている。

●入選

「パン工場ではたらく人びと」

岡崎市自作教材制作委員会B班

岡崎市視聴覚ライブラリー

郷土読本「おかさき」に新しく掲載される内容をとり上げた作品である。パン工場を見学したいと思っても、衛生管理上実際には見学をすることが難しい。ビデオの視聴を通して実体験に近い学習ができ、パンが作られる過程と共に、パン作りの工夫や努力を、現場の様子や働く人々の声から、学ぶことができる作品である。

平成19年度岡崎市教育研究大会

9月2日（火）、藤川小学校で岡崎市教育研究大会の学習情報分科会が開催された。助言者に名古屋大学大学院の大谷尚教授をお迎えし、「ネットワーク社会における豊かな学びとメディア利用のあり方を追究しよう」をテーマに、

熱心な報告や討議が行われた。

発表された11点のリポートの内容を分類すると次のようになる。

- ① 学習ソフトウェアの利用により学習効果を上げる研究（4点）
 - ② プロジェクターや電子黒板を利用して学習効果を上げる研究（2点）
 - ③ 情報モラルについての研究（1点）
 - ④ 放送番組や映像制作といった情報発信活動を通して表現力・コミュニケーション能力を高める研究（4点）
- 助言者の大谷先生から、一人一人に丁寧なご指導、ご助言をいただき、次のような課題をいただいた。

- ・ いじめがケータイにより、やりやすい状況にある。当たり前のように使えるようにしなければならぬ。本来は家庭での教育だが、学校がそれを支援しなくてはならない時代だ。
- ・ 映像を介して言葉が豊かになる、自分の体験を言語化するといった効果が生まれる。

なお、「父母と教師の教育を語る会（県教研）」には、次の二名が推薦された。

- ・ 井田小学校 内田 雅之先生
- 「映像制作を通してメディアリテラシー」
- ・ 北中学校 森 竜師先生
- 「ケータイを通して『情報モラル』を学ぶ」

ライブビューだより

実践報告 II

言語力を伸ばし、表現力を高める校内放送

北野小学校 兼松ゆかり 川崎志保子

「こんにちは、五・六組ニュースの時間です。」
Aの声が校内に響きわたり、テレビ画面にはアナウンサーになりきったAの顔が映った。

Aは、以前から校内放送で、アナウンスをすることにとても興味をもっていた。そして、特別支援学級の子供たちが言語力を伸ばし、表現力を高めることができる題材はないか、本学級の子供たちが全校で活躍できる場はないか、ということを考えて。そこで校内放送を利用した「五・六組ニュース」作りに取り組んだ。

いよいよ制作開始。「何をニュースにしようかな」、「Bさんのお父さんが教えてくれた紙工作のことがいい！」ということで作作に取りかかった。分かりやすい原稿作り、伝わりやすい話し方の練習など、時間はかかったが、本番に向けて、意欲はどんどん高まった。そうして、いよいよ収録開始。テイク1後、



放映中の5,6組ニュース

「あれ、言葉がはつきりしない」「声が聞こえない」と修正点をA、Bが見つけた。再度、練習して、テイク2。Aの顔には満面の笑み。こうして収録されたビデオが、放送された。全校児童から感想も多く寄せられた。二期が始まり、「またニュース、やろうね」とAが語る。子供たちがどんな力を発揮するか楽しみでもあり、課題でもある。

II レッツ・トライ II

難しくない『Netモラル』

近年話題になっている無料HPやブログ、ブロフ、ブログ。生徒たちの間では、友人とのコミュニケーションを図るツールとして使われている。

しかし、匿名性を利用して、心無い書き込みをしたり、画像などをアダルトサイトへ投稿したりするものがあるなど、問題は大きく、学校教育の場での情報モラルの指導が課題とされている。

そこで、「OKリンク」の「Web教材」にある『Netモラル』を勧めたい。このソフトは、インターネットなどのコミュニケーションを使う際のモラルを考えていくためのソフトである。情報モラルというと、どのように授業をやればいいのか難しく考え

てしまいがちだが、このソフトには、項目ごとに指導案やワークシートがあり、授業で流す映像も付いているので、誰でも簡単に情報モラルの授業をすることができる。



(城北中学校 学習情報主任 今井文晴)

● 学生(子ども)映画祭ニいぶすき 作品募集

この映画祭は、子供がホームビデオを使って映像作品を作り、その映像を通して自らの思いを伝える全国的なコンクールです。技術を競うのではなく、メッセージ性を重視したコンクールです。ぜひ、学校や家庭でお取り組みください。

◆ 応募締切

10月15日(水)

◆ 作品のテーマ・題材

は自由

◆ 応募規定

ホームビデオで撮影した3分以内の作品で、1作者(1団体)につき1点のみ

◆ 申し込み・問い合わせ

学生(子ども)映画祭ニいぶすき実行委員会

<http://www.city.ibusuki.lg.jp/>

● CD・DVDコピー機

(デuplicレーター)のご利用を!

CD・DVDを同時に9枚までコピー可能なデuplicレーター(写真左)を視聴覚ライブラリーにおいて利用できます。コンピュータを解さずコピーすることが出来ますので、手軽に利用できます。文化祭や学芸会が近づくこの時期に、配布用のディスク作成等に、活用ください。(著作権等には十分ご注意ください。)

